

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学力向上に関しては、学習した内容をもとに表現する力について課題が残った。新学習指導要領に基づき、授業改善が必要である。 ・思いやりのある言動を実践していくために、具体的な言動を紹介する機会や場を設ける必要がある ・運動を好む児童が多く、体育的行事や外遊びなど、積極的に活動することができた。 ・本年度よりコミュニティスクールとなる。PTAや地域との連携に努める。また、山代を愛し、山代を育む人材を育成する。山代の「ひと」「もの」「こと」とのかかわりを通じて、自己有用感を育み、将来に夢や希望を語るができる子どもを育てていく。
------------------	--

2 学校教育目標	「笑顔で 元気な 東っ子」の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	① 「学び」の楽しさや喜びを味わわせ、学力の向上を目指す。 ② 感性を高め、思いやりに満ちた豊かな人間性を育成する。 ③ 基本的な生活習慣を身に付けた、心身共に健康で、たくましい児童を育成する。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○児童が主体的に学ぶ授業の実践 ○GIGAスクール構想の推進	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○知的好奇心が満たされるような問題提示を行う教師80% ○家庭との連携を図り、家庭学習に取り組む児童が80%以上 ○ICTやタブレットを授業などで活用する児童や教師80%	・児童が主体的に取り組めるよう、ICTなどを活用して教材提示の工夫を行う。 ・振り返りのカードを示し、観点ごとの振り返りをする。 ・定期的「ちゃんと週間カード」を配布し、「学年×10+10」を徹底する。 ・教師が進んでICTを活用できるように、職員研修を行う。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○年に2回、道徳に関するアンケートを実施し、肯定的な意見を持つ児童の割合を80%以上にする。 ○縦割り活動について、楽しかった振り返りや相手意識をもった行動ができたという感想を持った等の児童の割合を80%以上にする。 ○学校が楽しいと肯定的な回答をした児童が90%以上	・道徳教育全体計画の重点目標を念頭に置き、児童の発達段階に応じた授業づくりを行う。 ・いろいろな縦割り活動を計画し、異学年交流を通して思いやりの心を育てる。 ・アンケートを実施し、児童の実態を把握。必要がある場合、速やかに指導する。 ・児童の表情や行動に注意し、支持的風土づくりを目指す取り組みをおこなう。 ・職員間の情報交換を密に行う。							道徳教育担当 人権・同和教育担当者 各学年担任 生徒指導担当 教育相談担当 各学年担任
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童90%以上 ○歯と口の健康に関する指導を通して、児童自身の心身の健康に関する実践力を高める。 ○1日3回の歯みがきを実施している児童の80%を目指す。 ○1日3食食べる児童90%以上を目指す。	・発達段階に応じた歯と口の健康に関する指導を行う。またコロナの状況を見ながら児童や保護者に対して歯科講演会を計画する。 ・給食だより等を通して、保護者に食育に関する啓発を行う。また栄養教諭に栄養バランス等について授業してもらい食育に関する意識を高める。 ・食生活・歯みがきアンケートを実施し、児童の実態を把握する。							保体部長 体育主任 保健主事 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○働き方に関する教職員の意識改革と実践	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ●働き方に関して、改善したという職員90%以上	・なわとび大会や持久走大会などの体育的行事と関連させ、外遊びを通して健康な体づくりを奨励する。 ・週案に退勤時刻を記入させたり定時退勤ボードを活用させたりすることで業務の見通しを持たせる。 ・自己目標の中に必ず、働き方改革に関する取り組みを入れる。 ・働き方に関して研修会を行い、意識改革を図る。 ・定時退勤日の設定。							管理職 管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の充実	○個に応じた指導体制の充実 ○特別支援教育の推進	○児童に関する情報交換会を週に1回実施する。 ○特別支援教育について理解を深めるため、職員の研修会を年2回以上実施する。	・保護者面談や情報交換会、校内支援委員会を通して保護者や職員間の連携を図り、共通理解をして支援を行う。			
○地域連携教育の推進	○コミュニティスクール・子ども伊万里学の推進	○各学年、年に1回以上、地域人材を活用した授業や行事を行う。	・学校運営協議会や学校便り等で人材を募ったり、地域に出向いて学校支援への協力をお願いしたりすることで授業に参加していただく。							管理職

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--